

落合東小学校 第4学年 「道徳」シラバス

【道徳の目標】

- (1) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培います。
- (2) 豊かな心をはぐくみます。
- (3) 伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成します。
- (4) 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成します。
- (5) 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成します。
- (6) 未来を拓く主体性のある日本人を育成します。
- (7) 道徳性を育成します。

道徳性とは

人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。また、人間らしいよさであり、道徳的諸価値が一人一人の内面において統合されたものです。さらに人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

道徳教育は、人格の完成をめざす教育活動です

【次のような内容を指導していきます】

1 主として自分自身に関すること

- (1) 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする。(11月「みんなで考える」道徳)
- (2) よく考えて行動し、過ちは素直に改める。(7月東書「ゆたかな心で」)
- (3) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。(5月東書「ゆたかな心で」)
- (4) 正しいと思うことは、勇気をもって行う。(6月教育TV・10月「みんなで考える道徳」)
- (5) 正直に、明るく元気で生活する。(6月教育TV・9月みんなで考える道徳)

2 主として他の人とのかかわりに関すること

- (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。(2月「みんなで考える道徳」)
- (2) 相手のことを思いやり、親切にする。(6月・10月東書「ゆたかな心で」)
- (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。(7月教育TV)
- (4) 生活を支えている人や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。(12月「みんなで考える道徳」・2月教育TV)

3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

- (1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。(5月「みんなで考える道徳」・2月東書「ゆたかな心で」)
- (2) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。(6月「みんなで考える道徳」・心のノート)
- (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。(5月東書「ゆたかな心で」)

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。(5月「みんなで考える道徳」・9月教育TV)
- (2) 働くことの大切さを知り、進んで働く。(11月「みんなで考える道徳」・1月東書「ゆたかな心で」)
- (3) 父母・祖父母を敬愛し、家族みんなで協力しあって楽しい家庭をつくる(10月東書)
- (4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる(4月教育TV・心のノート)
- (5) 郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心をもつ。(1月「みんなで考える道徳」)
- (6) 我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人や文化に関心をもち、(10月「みんなで考える道徳」・10月教育TV)

【道徳教育の評価について】

児童の道徳性については、反応や変容など、その実態を把握して指導に生かすように評価していきますが、数値による評価はおこないません。

道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で、動的、発展的に評価します。

道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。

家庭や地域社会とも連携をはかりながら、VTR・読み物資料・写真・教師に説話・体験活動などを取り入れながら多様な指導法を心がけます。